

日時 令和4年5月28日（土）21時～22時5分
場所 リモート会議
参加者 菊池、下山、串部、浅野F g、浅野T b、原田(宗)、澤田、月本、上原、藤田、赤塚、大西、福島、栗木、樋口、あうる松本、原田(洋)
欠席者 佐藤、羽井佐
※順不同

- 1 決算報告
- (1) 瀬戸内市コンサート → 承認
- (2) 倉敷音楽祭 → 承認
- 2 定期演奏会の準備
- (1) 練習について
- ① 楽譜に練習記号、小節番号の記載を徹底すること。
- ② 指揮者練習の時は、最初から全員の椅子を準備しておくこと。
- ③ 定刻に音出でできるよう最善を尽くして集合すること。やむなく遅れる場合は、静かに気配を消して入室すること。
- ④ 駐車場の最前列（建物を回り込んだ所）は、道路側の駐車スペースを妨げないこと。
- ⑤ 駐車場（建物裏側）には、後から停める人のスペースをよく考えて詰めて停めること。屋根下も使用すること。
- ⑥ 指揮者対応：お茶・おしぼりをどうするか。迎えは無し。送りは串部さん。
→ これまで対応された方に個別にお尋ねます。
- ⑦ その他（説明を忘れてました！）
→ チケット指定席券の配布方法の変更・・・> Googleフォームに示します。

- (2) プログラム曲目紹介
- ① ナブッコ：
- ② ハイバリ：
- ③ オルガン付：
- ※各パートで執筆希望者を募り、いなければパーマネのくじ引きで決める。

- (3) プログラム広告
- ① 過去の実績
 - ・あかつか眼科、玉島活版所
- ② 今回の対応
 - ・JAO（今回限り）3万円
- 広告枠数と金額を決めて依頼文を作り募る。1枠5千円が相場。

- (4) 宣伝方法
- ① SNSでの情報発信の充実について
 - ・練習風景（後方から）
 - ・パートの写真など
- 楽団の活動状況が分かるように取組む。
- ② 『オケしませんか？』の状況
現時点で応募無し。団員のリツイート等で周知拡大をお願いする。
- ③ その他
 - ・Instagram を始める。

- (5) 練習の出欠確認
- ・出欠状況は練習当日中に団員専用ホームページから入力してください。
- ・出欠状況の団員管理への活用（来年総会に向けた協議事項）
- 今後、休団、退団の扱いを協議していきたい。例えば2年活動に参加なら自動休団、例えば3年活動不参加なら自動退団とする規程を検討。
- 休団中の方にも演奏会の手伝いを依頼する。

- (6) 出演者の扱い
- ・フルート → 団員にならないが出演可能のためノルマ無し。チケット販売は協力をお願いする。

- 3 来年以降の定期演奏会
- (1) 開催時期
- ※6月開催は準備や練習期間が短いので8月か7月に変更したいがどうか。
- 会場は倉敷市民会館を第1に、確保できなければ岡山シンフォニーも対象とする。
- 芸文館は対象としない。
- (新たな岡山芸術創造劇場は令和5年9月オープン予定)
- ① 第1希望：8月下旬又は8月中
- ② 第2希望：7月下旬又は7月中

→ 7～8月で会場を押さえる方向で動くこととする。

※以前は吹奏楽関係の学校の先生が多かったこともあり、吹奏楽の大会などと被らないようにしていた。

※現在は以前ほどそういった人がおらず、7～8月の方が準備も余裕をもって行えるメリットがある。

※どの時期にしても、全員の都合が合う日程はないため、上記のとおりの方針とする。

- (2) 選曲
- ・第49回と第50回をセットで6月上旬に団員アンケートを実施
- 6月役員会でアンケート結果を確認して選曲委員会へ
- ※TCCの活用

- 4 新練習場の検討状況
- ・別紙「山陽ハイツ跡地整備基本構想」等を参照
- ⇒倉管の活動としては、51回定期演奏会から影響がある見込み。
- ⇒練習室の広さ等の計画が示されており、業者の選定も始まる。計画以上を求めるなら政治的な働きかけなども必要になるタイミング。

- 5 その他
- ・ピアノ 日笠さんが13日に初参加。鳥越さんは13日はNG、他は調整中。
- ・オルガンの代用楽器を手配するかどうか？
⇒回数はそこまで要らないかもしれないが、音程を合わせるのに1度くらいは必要か。後日協議。
- ・新見市コンサート選曲／6月4日（土）夜
- ・音楽祭について→次回以降に検討／前回は基本に考える？
- ・JAO2022事業計画

※TCCの活用について⇒自由裁量型、販売店提案型など他団体での活用実績多数あり。JAO静岡大会中に2024年度の募集要項が示されるので、50回定期演奏会で活用を検討。